

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月

事業所名 Atelierみるく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0		十分に活動スペースを用意しています。
	2	職員の配置数は適切である	3	0	職員の急な休みの折には、配置不足にならないように補充しています。	各利用者の成長・ニーズに合わせて専門支援員を配置していますが、さらなる補充も検討します。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	段差があるところは必ず声かけをして、見守っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	子どもの活動を妨げる物は極力排除しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	週1回のミーティングで意見交換、課題を話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		保護者様からのアンケート結果やご意見を職員間で共有し、更なる業務改善に勤めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	ホームページでの公開、事業所内での貼りだし等で公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	各職員の業務に適した研修を実施しています。また、年一度全職員研修をしています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	丁寧にご要望・課題を聴き取り、計画に反映しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		医療機関等でお受けになった検査結果等を参考にしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		次年度からはさらに分かりやすいように必要な項目ごとに具体的な支援内容を設定していきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	職員全員に徹底して支援に従事していたんす。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	チームの意見を取り入れながら立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	季節を取り入れながら、個々の発達に沿って、固定化しないように立案している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	1	子どもの状況に合わせて行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	当日の役割分担は必ず話合っています。	役割分担を行って、お子さんが安心してレッスンに向かえる環境作りを考えています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	当日の振り返りを次回の支援に生かせるように共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	毎回、記録は正しくつけることを徹底しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	担当者からの評価を基に、担当者と児発管がモニタリング会議を行い、判断しています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	しています。参画が難しい時は詳細な報告書を提出しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	2	他の療育機関と連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	現在いらっしゃいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	現在いらっしゃいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	支援者会議等で共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0	支援者会議等で共有しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0		機会があれば受けてたいです。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	0	集団プログラムにおいて、インクルーシブなレッスンを設定しており、双方にとって成長の場となるようにつとめています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	レッスン後のお迎え時にレッスンの様子や家庭での様子を共有するようにしています。	レッスン後、時間の取れない時もあるので、極力話せるように心がけます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時に丁寧にご説明させていただいています。	いつでも疑問がある時は対応します。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	1	支援計画を示しながら内容の説明を行っており、同意の確認をしています。	次年度からはガイドラインの提示と共に支援内容を説明していきます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1	6か月に一度の評価の折や、都度必要に応じて必要な助言支援を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	保護者会の開催はありません。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	直接相談・申し入れをお聞きしており、適切に対応しています。	お時間の取れない時は 適宜時間を調整し、迅速かつ適切に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	グループラインなどを利用して随時情報を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	パソコンの扱い、個人記録等を含めて、個人情報には十分注意しております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	対面・書面・グループライン・個別ライン当で、情報伝達の漏れがないように注意しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	ご契約に説明させていた抱えています。	いつでも閲覧していただけるように事業所入口に常時せい設置しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	例年5月11日に行っています。昨年11月に行った訓練については現在玄関に貼りだしております。	訓練後はグループライン、事業所内の貼りだし等でお知らせしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0	契約時に聴き取りをさせて頂いています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	食べ物を提供する機会はありませんが、注意しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	事例集を作成しています。	職員全員への周知を徹底します
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	毎年定期的に全職員を対象に行っています。	今年は2月16日に行いました。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0	組織内で決定して、子どもや保護者に事前に説明し、了解を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。